

「梅の実」採ろうウォーキング!

参加募集

横合地区の「梅園」所有者のご厚意で今年も梅採りを実施いたします。岩瀬張中里公園から梅園までの約500mをウォーキングし梅採りです、収穫した梅の実は、皆さんで分け合ってお持ち帰り出来ます。それぞれお好きなレシピでお楽しみください。枝が低く、子どもでも簡単に収穫できます、親子での参加大歓迎!



- 日時 7月4日(土) 9時30分~11時30分
- 集合場所 岩瀬張「中里公園」
徒歩で現地に向かいます(約500m)
- 募集人員 20名程度(親子は保護者同伴)
- 対象 小久慈町民(定員になり次第締め切り)
- 持ち物 梅を入れるビニール袋、汗ふきタオル等
☆飲み物はまちづくり協議会で準備します☆
- 申込み 6月30日(火)までに
小久慈市民センター 電話 59-3051へ
- その他 服装(長靴・長袖・長ズボン・手袋)
※小雨決行(雨天中止の際はご連絡致します。)

岩瀬張町内会で「自主防災会」設立

市内で71団体目の自主防災組織となる岩瀬張町内会自主防災会が結成され、4月17日中平久慈市長から「認定証」が交付されました。

全国的に「地震」「津波」「豪雨」「山火事」等、自然災害が多発していますが、自主防災会は「阪神淡路大震災」を教訓に「久慈市地域づくり振興課」の指導のもと市内全域で結成されています。

「阪神淡路大震災」は、平成7年1月17日5時46分、マグニチュード7.3、最大震度7の大地震でした。消防車、救急車、パトカー等が走る事が出来なく、被災者の救助は8割方「隣近所の住民」でした。「公助」が届かなく「近助」のチカラでした。

その「近助」の教訓から、地域づくり振興課では「自主防災組織」の結成を目指し、小久慈全町内会でワークショップ等の話し合いを行い、結成して来ました。

小久慈には13町内会ありますが、8町内会で自主防災会が結成されています、自主防災会が結成されていなくても、災害時には同じ活動をしています。

自主防災会を結成すると、毎年久慈市より補助金が支給されます。世帯数にもよりますが、毎年10万円前後が支給されますので、避難所の備品等準備できます。現在は小久慈市民センターで指導していますので結成手法等相談して下さい。



認定証を手にする八屋芳紀会長と岩瀬張町内会役員

小久慈朝市開催!

今年もいよいよ朝市がスタートします、地元の採れたて野菜や果物、田楽、串餅、自家焙煎コーヒー、ハンドメイド商品、雑貨などが出品!

中平久慈市長挨拶・小久慈プレイヤーズによる開会宣言

第1回(通算35回)小久慈朝市開催します!

- 7月12日(日) 8:00開会 (9:30頃終了予定)
- 場所: 旧長内中学校玄関側
- お楽しみ抽選(会場入り口)
 - 100円商品券
 - 玉子(6個入)
 各50名様に抽選で当たります。

~ご家族でお楽しみください、お越しをお待ちしております~

朝市開催予定日

第2回	8月9日(日)
第3回	9月13日(日)
第4回	10月11日(日)
第5回	11月15日(日)

毎回、「くじ引きコーナー」、「おもちゃ販売」、「輪投げコーナー」などもあり、子どもからシニア世代まで、地域の皆さんに愛される小久慈朝市を目指しています。
11月まで、毎月1回左記日程で開催予定です、皆様のご来場をお待ちしております。
◎問い合わせ: 小久慈市民センター 電話 59-3051

久慈市歴史民俗資料室 朝市特別開館

久慈市の貴重な歴史民俗資料が多数展示されています。(入館無料)

実施日時・会場変更のお知らせ

- 令和8年度小久慈地区敬老会 ■
- 日時: 10月4日(日)
- 会場: 小久慈市民センター
※小久慈地区敬老会の日程・会場を総会に諮り上記の通りに変更することといたしました。

べっぴん♡カフェ

山根

6月の市

- 6月21日(日) 10時~13時まで!
- 山根市民センターにて!!
※無くなりしだい終わります。

小久慈

まちづくり通信

第103号
令和8年6月15日
小久慈まちづくり協議会広報委員会
久慈市小久慈町21-47-14
小久慈市民センター
電話 59-3051

2・3頁記事
・まち協 総会・歓迎会開催
3頁記事
・桜ウォーキング
4頁記事
・梅の実採ろうウォーキング
・岩瀬張町内会自主防災会設立

令和 8 年度 小久慈まちづくり協議会 総会・歓送迎会開催される 5/30(土)

*はじめに

まちづくり協議会の総会、歓送迎会は、令和元年 6 月に開催していますが、その後コロナ禍により、令和 2 年から令和 4 年は「書面決議」とし、令和 5 年から、対面で「総会・歓送迎会」を開催しています。

令和 8 年度は 5 月 30 日(土)に午後 2 時から教養文化室(和室)で「通常総会」を開催し、3 時から研修室で「転出入者、新旧役員歓送迎会」を行いました。

なお、総会会場(2F 和室)が狭いことから、恐縮ですがご来賓や顧問団の皆様には、歓送迎会からお出で戴きました。

*総会では

総会は、代議員 19 名、准代議員 2 名、役員 21 名、市民センター、地域づくり振興課、やませデザイン会議等 4 名の計 46 名の出席で開会です。

議長選出まで、八屋事務局長が進行し、主催者挨拶で鹿糠会長は「令和 8 年も多くの事業を計画しています。皆様のご協力をお願いします」と新年度に向けた決意を表明しました。

総会議長は下日当町内会の馬場満信代議員が選出され、議事に入りました。

1. 「議案第 1 号 令和 7 年度事業実施報告」、「議案第 2 号 令和 7 年度収支決算、監査報告」を一括して報告、審議が行われました。

決算では繰越金が前年度の約半額と少なく、令和 8 年は緊縮財政になります。特段の質問・意見も無く、満場一致で承認されました。

2. 次に「議案第 3 号 令和 8 年度事業計画(案)」「議案第 4 号 令和 8 年度収支予算(案)」も一括して提案されました。

事業計画、予算案では、「緊縮財政」に鑑み、女性部、老人クラブ等の各部への配算は「20%減」の予算とし、「敬老会」は 10 月 4 日(日)小久慈市民センターを会場に開催する旨提案がありました。敬老会は「まち協」の大事業であり、新たな取り組みとなることから、相当前から準備する必要があります。

若干のご意見を頂き、満場一致で承認されました。

3. 議案第 5 号「役員改選」では、3 月に開催された「町内会会長会議」の推薦もあり、会長に鹿糠勇さんを再任し概ね令和 7 年度同様の役員となりました。

議事は無事終了し、馬場議長に感謝し閉会となりました。



歓送迎会対象者 (敬称略)		
役職等	転出(退任)	転入(新任)
長内中学校長	外館 邦博	柏崎 裕之
岩瀬張 町内会長	中戸鎖 征夫	八屋 芳紀
下柏木 町内会長	熊谷 正男	日沢 栄一
大沢田 町内会長	賀口 武信	中屋敷 博行
まち協 監事	八屋 芳紀	和野 正章

*転出入者、新旧役員歓送迎会

歓送迎会にご来賓、顧問団もお出で戴き、3 時より 2 階研修室で開催しました。約 50 名の出席者で満杯の歓送迎会となりました。

はじめに司会者より、前の席に並び本日の主役の「転出入者」「新旧役員」が紹介されました。対象者は 10 名です(2 頁下段)

会長挨拶では、鹿糠勇会長は「旧役員の皆さんは長い間、まち協の活動にご協力賜り感謝申し上げます」、「転入者、新役員の皆さんは、新たな小久慈のチカラとしてご協力をお願いします」と改めて挨拶しました。

お忙しい中出席いただいた中平均久慈市長より「地元の小久慈まちづくり協議会頑張れ!!」と激励の挨拶を頂きました。【右写真】

続いて、転入、新旧役員を代表して、長内中学校の柏崎裕之校長先生より「生まれも育ちも小久慈市です」とチカラ強いご挨拶を頂きました。

*祝宴

さあお待ちかねの乾杯です。

乾杯の発声は恒例により、町内会会長会議の成田晃彦会長です。大きな声で乾杯し、一気に飲み干しました。50 名の出席者で久しぶりの大宴会です。

来賓の皆さん、顧問団の皆さんと「これからの小久慈の取り組み」について、時間の経つのも忘れ歓談しました。残念ですが、5 時 30 分頃、上日当町内会の鹿糠辰美会長による「中締め」です。

令和 8 年度は「緊縮財政」ですが、皆で知恵を出し合い、「更に活発な活動をと」誓い合いました。



好天に恵まれ「桜ウオーキング」



未来づくり事業(5 チーム)の「桜チーム」(代表:奥寺文夫)では、4 月 19 日(日)恒例の「桜ウオーキング」を行いました。

桜チームでは平成 29 年 9 月に「小久慈町」に有る桜の本数を調査し、814 本を確認しました、そして、多くの企業から協賛を頂き、桜マップ「こくじ桜街道」を作成しています。

以来毎年、桜の開花時期にウオーキングを行っており、今年は約 40 名がウオーキングしました。

ウオーキングコースは小久慈市民センターから、長内川沿に「滝ダム周辺環境美化」で植えられた「桜並木」を見ながら、滝ダムまでのコースです。

コースには「コブシ」、「ヤエザクラ」、「シダレザクラ」、「ヤマザクラ」、「ソメイヨシノ」等が満開で皆さんを待っていました。

途中では、スタッフから「コブシの名前の由来は『種子が握り拳』の形に大きくなる」、「ソメイヨシノは『一代雑種』で、種子が出来ない」、「雑種なので、ヤマザクラ等より弱く『天狗巢病』(枝が天狗の巣状に見える)になっている」、スギ花粉症の原因である「スギの雄花(花粉)」の写真や説明があり、滝ダムまで「各種サクラ」の違いを見て楽しみました。

ダムの直下の大きな「ソメイヨシノ」の前で今年も記念撮影です。

